

令和4年3月2日

大阪府立柴島高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

1 会議日 令和4年2月28日（月）

2 開催方法 資料送付及び意見聴取

3 委員

	氏名	資格	所属
会長	森田 英嗣	学識経験者	大阪教育大学 副学長
副会長	山本 了照	地域の関係者	大阪市立淡路中学校 校長
委員	戸田 和雄	その他の関係者	大阪府立柴島高等学校後援会 会長
委員	武田 緑	地域の関係者	Demo(教育ファシリテーター・武田緑事務所) 代表
委員	表西 貴文	地域の関係者	大阪市新大阪人権協会 評議員
委員	白濱 めぐみ	保護者	大阪府立柴島高等学校P.T.A 会長

4 事務局（学校側）

坪内 誠道（教頭） 三輪 真嗣（首席） 内田 清彦（首席） 堀 博俊（事務長）
森田 正良（校長）

5 送付資料

○学校教育自己診断の結果

○学校評価（案）

○各校務分掌の年間総括

○来年度の学校経営計画（案）

6 意見聴取の経緯

令和4年2月 7日（月） 事務局から各委員に資料送付（意見聴取の期日を2月28日に設定）

2月 14日（月） 表西委員より電話にて意見確認、学校経営計画（案）の承認

2月 26日（土） 森田会長よりメールにて意見聴取、学校経営計画（案）の承認

2月 28日（月） 戸田委員よりメールにて意見確認、学校経営計画（案）の承認

白濱委員よりメールにて意見確認、学校経営計画（案）の承認

3月 1日（火） 武田委員よりメールにて意見確認、学校経営計画（案）の承認

7 委員からの意見の概要

- ・学校経営計画（案）の「2. 中期的目標」において、昨年度の建付から大胆な変更がなされ、価値があり必要だと思われるカリキュラムの実現（「確かな学力」の育成、「ともに学び、ともに育つ」教育の推進、人権教育の推進）と、それによって引起される予想される教員の多忙化問題の回避（校務の効率化と働き方改革）の双方に等しく注意が払われ、柴島高校としての落としどころが意識化されていることが確認でき、すぐれた「中期的目標」になっていると感じた。また、こうした中で、学校教育自己診断の「教職員の働き方改革」に関する肯定率が大幅に上昇している点は特筆に値する。是非とも、この方向でバランスを保ち、「3. 本年度の取組内容及び自己評価」の欄にある「評価指標」の数値の達成をめざしていただきたい。
- ・コロナ禍対応に関しては、各分掌の報告からも、本来実現させるべき教育活動に制約がもたらされてしまった実情と、それでも何とか本来の価値を実現しようとした心持ちが読み取れた。こうした中でも、学校教育自己診断の結果、「本校に来て良かった」「教職員が協力している」「家庭学習に向けての工夫」の各点での生徒の評価が高くなっているとの報告は、極めて大きな成果だと感じた。「地域との交流」「主体的な学習のための授業の工夫」等、コロナ禍の影響で思う存分の達成が追求できなかった部分においても是非意識化し、次年度にwithコロナ時代を前提とした対策を立て、確実に目標達成できるよう教育活動を調整していただきたい。